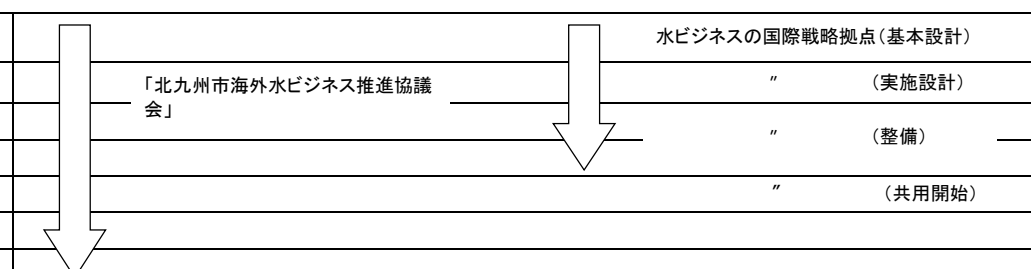


取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組③-2-b 官民連携による海外水ビジネスの展開	【上下水道局】
②対応する目標・課題	民間企業の持つ優秀な技術力と北九州市の持つ事業管理ノウハウをパッケージ化し、海外ネットワークを活用して官民一体となって、アジアで水ビジネスを展開する都市を目指す。	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標：上下水道に関する技術・ノウハウをパッケージ化し海外に輸出する	■目標値：0円(2010年度末)→国が目標にしている日本勢のシェア拡大の一翼を担う。 ※ 国の目標：2025年の水ビジネス市場31兆円(民営分)のうち、日本勢でシェア6%を獲得
④取組内容	<p>1)海外水ビジネスの展開</p> <p>水ビジネスは、部材・部品・機器の製造から計画、設計、施工、管理運営まで、幅広い裾野を持つ産業である。この分野における企業のもつ優秀な技術力と、北九州市がこれまで蓄積してきた上下水道分野での事業管理運営ノウハウ、長年にわたる国際技術協力(交流)で築いてきた人的ネットワークを駆使した情報収集力と信用力を組み合わせることにより、官民一体となって成長著しいアジア市場でビジネスを展開する。</p> <p>具体的には、官民の英知が結集した、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、計画、設計、施工から管理運営にいたるまで、上下水道の技術やノウハウをパッケージ化し、本市と太いパイプをもつアジア諸都市を中心に、具体的なビジネス案件形成活動を積極展開する。また、「ウォータープラザ北九州」を中核施設とした水ビジネスの国際戦略拠点を活用した事業を展開する。</p>	
⑤エリア	<p>小倉北区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日明地区(水ビジネスの国際戦略拠点) ・大手町地区(北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局) 	
⑥主体	<p>北九州市</p> <p>北九州市海外水ビジネス推進協議会</p> <p>(会員：民間企業128社、中央政府、学識者、関係機関(JICA/JBICなど)、北九州市)</p>	
⑦活用した国等の制度	<p>社会資本整備総合交付金(国土交通省)</p>	
⑧地域の関与	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市水道局(上水)及び建設局(下水)に海外水ビジネス担当を設置(水道局：平成22年9月、建設局：平成23年4月) ・平成24年4月、上下水道局の発足に際し、上下水道分野の海外事業部門を統合(海外事業課) ・官民連携の「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の設立(運営経費を市が負担) ※北九州市海外水ビジネス推進協議会への会員企業(市内)数=71社 ・「ウォータープラザ北九州」の整備にあたり、市がNEDO、民間企業、それぞれと覚書を締結し、下水道用地の無償提供、排水の受け入れなどに協力 ・ハイフォン市と北九州市の水ビジネス包括協定を締結(H23.10月より5年間) ・カンボジア都市水道開発に関する覚書を締結(H23.12月より4年間) 	
⑨スケジュール		
⑩他の取組との連携	<p>取組名：【③-2-a】アジア低炭素化センター</p> <p>連携内容：アジア低炭素化センターが取り組む環境技術の海外展開に併せ、北九州市海外水ビジネス推進協議会も連携して上下水道整備を提案し、環境に配慮したまちづくりに寄与する。</p>	
⑪自立・自律の方針・目標	<p>経済効果 国の目標値(水ビジネス市場31兆円のうち、日本勢でシェア6%)の一部</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>本市が基本計画策定に関与</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>日本企業が 応札しやすい 発注仕様と なるよう促す。</p> <p style="text-align: center;">⇒</p> <p>民間企業による 実施設計や施工の受注 ＝経済効果</p> </div>	